

令和5（2023）年第2回栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会 議事概要

1. 開催日時 令和5年8月7日（月） 13:30～14:30
2. 会議形式 オンラインによる Web 会議（事務局：県庁昭和館多目的室3）
3. 出席者 委員9人（うち代理1人）、オブザーバー3人（うち代理2人）、
実験実施関係者（9人）

4. 議事

(1) 日光市における実証実験の実施概要について

資料1に基づき、日光市における実証実験の実施概要について説明し、質問やコメントをいただいた。

《委員からの主な意見等》

- ・ 今回は、既存のバス路線において、運賃を収受しての実証実験となる。ドライバーにとっては、普段使用していない車両での運行となり、不安に感じることがあると考えられるため、事前の操作訓練を十分に行っていただきたい。【委員】
⇒ 実証実験実施前にドライバーのトレーニング期間を十分に設けた上で、安全な運行ができるように努める。【事務局】
- ・ 実験車両に同乗するオペレータについては、車両不具合等の緊急時のトラブルに対して、適切な対応ができる人材を確保してほしい。緊急時の連絡体制を含めて事前の準備に努めてほしい。【委員】
⇒ オペレータは車両提供事業者である先進モビリティが務める予定である。万が一の車両の不具合等に対して、迅速に対応できる体制で実験を実施したいと考えている。【事務局】
- ・ 特記事項に東武鉄道が平成30年度から自動運転車両の検証を実施しているとの記載がある。詳細を教えてください。【委員】
⇒ 市道1002号線は一般車両進入禁止の閉鎖空間であることから、自動運転の走行環境に適しているのではないかという着想から検証を始めた。現状は、資料中にも課題として挙げられている「GPSが届かない環境でどのようにしたら運行できるか」を継続して勉強しているという状況である。【東武鉄道】
- ・ 今回の実証実験は、これまでのGPS等の位置情報を主とした運行ではなく、磁気マーカ―や高反射塗料の情報を主とした運行になると思われる。磁気マーカ―と高反射塗料のこれまでの実績や用いる技術の使い分けについて教えてほしい。【委員】
⇒ 栃木県ABCプロジェクトでは初めての取組である。使い分けとしては、高反射塗料ではルートの認識、磁気マーカ―ではバス停やカーブ箇所での加減速操作や停止位置の確認を行う。【事務局】

- ⇒ 今回のルートは閉鎖空間といった点では良い条件であるが、携帯通信の電波やGPSが届かないといった問題もある。今回の実証実験は、今後の本格運行を目指すための課題抽出に向けて良いタイミングでの実施と認識している。実験後の分析等にあたっては、県と一緒に実施していきたいと考えている。【東武鉄道】
- ⇒ 日光以外の国立公園や国定公園でも自動運転バスを走らせることのできる可能性がある地域は多いと考えている。それらの地域では、今回の実験箇所と同様にGPSが届かないといった課題も想定される。そのため、今回の実証実験で得られる成果は非常に有意義なものになると考えており、その成果については今後是非とも議論していきたいと考えている。

【委員】

- ・ 実証実験の実施にあたっては、まずは安全第一で実施していただきたいと考えている。自動運転走行に係る手続きについて、今回の実証実験で用いる自動運転のレベル2では特に手続きは発生しないが、今後レベル4の特定自動運行をする際には、公安委員会で許可を受けた後に、運輸支局での手続きが必要となる。手続きには時間がかかるため、余裕をもって進めていただきたい。【栃木運輸支局】
 - ⇒ 公安委員会で特定自動運行の許可をするにあたっては、警察庁との連携が必要であるため、早めに相談していただきたい。【栃木県警】
- ・ バス業界の人手不足には頭を抱えている。今回の実証実験は、観光地の二次交通を安定的に確保するためにも、重要な位置づけにあると考えている。実証実験の実施にあたっては、関係者の方々とともに安全第一で進めていく。【東武バス日光】
 - ⇒ 将来の実装に向けて、関係者との連携体制も構築していきたい。【事務局】
- ・ これまでは自動運転バスに乗ることを目的に県内の実験箇所（地域）を訪れていたケースが多かったと思われるが、今回の実証実験では、知らずに観光地を訪れて、バスに乗ったところで初めて自動運転バスということに気づく方も多いものと想定される。実証実験目的ではない来訪者のご意見を確認できることで、有益なデータ・情報が取得できるものと思われる。本日の議論を踏まえて、引き続き、計画の精査・準備を進めていただきたい。【阪田会長】

(2) その他

1) 下野市における実証実験について

- ・ 先週8月3日（木）に第1回実務者協議会を実施した。下野市役所、関東自動車を主体とし、交通管理者や道路管理者等と検討を進めていく予定である。【事務局】

2) 芳賀町における実証実験について

- ・ 今回、報告事項はない。【事務局】

(3) 次回協議会の開催予定について

- ・ 次回の協議会は10月下旬頃の開催を予定している。日光市での実証実験結果、下野市と芳賀町の実証実験の実施概要を議事として予定している。【事務局】

以上